

日本史基礎研究Ⅱ

2単位 2年(前期), 3年(前期)

衣川 仁・准教授/人間文化学科

【授業目的】史料の正確な読解は、歴史を学ぶ上で欠かせない作業であり、特に日本史の分野においてもっとも重視されるのは、古文書の読解である。古文書に書かれた内容について、様式等を踏まえて正確に理解することを目標とし、加えて原史料から得られる古代・中世社会の歴史的特質についても考察する。

【授業概要】配布する古代・中世古文書のコピーを読解する。くずし字の読みと、意味や様式の把握を行う。

【キーワード】古文書、史料、くずし字

【関連科目】『日本史演習Ⅱ』(0.5), 『日本史研究Ⅱ』(0.5)

【履修上の注意】古文書を読むためには、少なくとも高校レベルの漢文読解力・知識が要求される。各自で復習しておくことが望ましい。

【到達目標】古文書の読解;「読み」(字の解読・訓点)と「理解」(意味・様式の把握)

【授業計画】

1. 古文書を読むために
2. 信濃国雑掌申状を読む
3. 足利尊氏の花押
4. 寄進状・売券と土地
5. 御判御教書を読む
6. 武士と貴族の下文
7. 史雑訴決断所牒と裁判
8. 軍忠状と着到状
9. 祈りの文書
10. 官符を読む(1)―引用の中の引用―
11. 官符を読む(2)―朝廷の命令系統―
12. 請文と起請文
13. 関連する文書を読む
14. 中世社会と古文書
15. まとめ
16. 総括授業

【成績評価】定用意する古文書の正確な読解(「文字の読み」と「内容の理解」)ができているかどうか、学期末に行うペーパーテストを中心に評価するが、平素の授業での取り組みも勘案する。

【再試験】なし

【教科書】

◇なし。こちらでプリントを用意する。

◇参考書としては、佐藤進一著『[新版]古文書学入門』(法政大学出版社, 1997年)。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219284>

【連絡先】

⇒衣川 (088-656-7153, kinugawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日10時30分~12時)